

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 12 日

事業所名 アミュー・クーポン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		早めの休み希望で必ず人員が欠如しないように工夫している	実績シフト表を作成していなかったためかならず毎月作成する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に会議を行い業務改善のPDCAを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートをスマホから入力できるように工夫した。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的にコンサルタントから意見をもらい業務改善につなげている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修も行ったうえで外部研修に参加した職員が伝達講習を行うなど資質向上への工夫を	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用者の方々と保護者に丁寧にニーズを聞き取り計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的な会議でプログラムの立案を行い追加・修正を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的な会議でプログラムの立案を行い追加・修正を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、長期休暇時などプログラムを変更し課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		ひとりひとりのニーズに合わせて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		チャットアプリなどで事前に情報共有を行い、さらに打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		打ち合わせで情報共有を行い、ケース記録を記入。チャットアプリなどでも情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケース記録を利用者ごとに記入し支援の検証・改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		こちらのイベントなどは事前にお伝えし連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子どもはいないが、医療との連携が必要な子どもに対して主治医との連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		聞き取りを行うなど支援内容の情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		独自の就学サポートシートなどを使い情報共有をおこなっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に様子をお伝えし共通理解を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎時や面談時に困っていることはないか聞きそれに対する対応法などをお伝えしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明し疑問点などは随時お答えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時や送迎時に家庭での様子をきき助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	新型コロナウイルス流行のためなかなか開催することが難しかったが今後感染状況等を踏まえ検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		その都度、誠実に対応しながら支援のフィードバックをおこない、経過を毎月の会議で確認している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		何かイベントを行う時は事前に説明し、後日様子などをお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報はカギのかかるロッカーにいれ、管理をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		場所の構造化や絵カードや文字で伝えるなど工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所全体のイベントを行うことで地域と関わりを持てるようにしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルに基づいた訓練を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用者も含め実際の災害を想定して訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所全体で研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束の適正化を委員会で作成し、全職員に共有しています。また、身体拘束はできるだけしないよう支援スキルを高める研修をしています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		指示書を職員が閲覧し情報を共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		チャットアプリで共有するほか報告書として共有している。	